

崖っぷち「レオパレス21」システム開発 50億円追加投資で ワラント債発行の大冒険

実業界

5

The Analytical Magazine for Economics

2012

毎月1日発売

昭和27年2月28日第三種郵便物認可
毎月1回1日発行 平成24年5月1日発行 第999号

「カルビー」 海外進出でかからぬエンジン

- 紳士服の本業不振
「AOKI」横浜結婚式場に
巨額投資の危険な賭け
- 4期連続最終赤字で一人負け!
「マツダ」山内孝CEOに
問われる経営責任



号



前月号のコラムでは、口臭の症状に悩む患者さんの若年化、という話をさせていただいた。本稿では、具体的なその治療法や、予後の経過などについてお話ししたい。

首都圏に住む、二十九歳の女性、昨年四月にひどい口臭になす術もなく近所の歯科医を受診。歯周炎の治療、抗生物質の処方で、一時的に症状は改善したものの、数カ月後には、さらに強度の口臭に悩まされはじめ、紹介により当クリニックを受診。(ものが食べられなくなった、仕事にいけなくなった、その他、体の不調、不眠、頭痛や、めまい) この患者さんが口臭に悩むようになったきっかけは、前号で紹介した若年層が増え始めているストレス性の口臭の典例だ。

首都圏に住む、二十九歳の女性、昨年四月にひどい口臭になす術もなく近所の歯科医を受診。歯周炎の治療、抗生物質の処方で、一時的に症状は改善したものの、数カ月後には、さらに強度の口臭に悩まされはじめ、紹介により当クリニックを受診。(ものが食べられなくなった、仕事にいけなくなった、その他、体の不調、不眠、頭痛や、めまい) この患者さんが口臭に悩むようになったきっかけは、前号で紹介した若年層が増え始めているストレス性の口臭の典例だ。

十 未病の憂い

歯科医が語る現代版養生訓



環境変わる春先の「口臭」に要注意

も、自ら大きく育ててしまうようなものと考え方や対応のまずさは、口臭やドライマウスだけではなく糖尿病や心臓病などの重篤な疾患の引き金となる。

この患者さんの場合も、口臭の他、過度に交感神経を使った、その「痕跡」が口の中に数多く見られた。歯がしりりやかみ締め過ぎによる歯の磨耗、ひどい歯周病でないのに、歯肉からの出血、繰り返し本稿でも解説している虫歯が原因でない歯痛(口腔心身症) さらに全身的には頭痛や肩こり、睡眠障害もあった。

この女性患者さんへの治療は、口腔内の清掃と、以前から紹介してきたレーザー光による星状神経節近傍照射(頸部の交感神経節ブロック)などの理学療法を行った。

約半年ほどの治療で、症状は改善。以降、口臭もなく、頑固だった肩こりや睡眠障害からも解放され、今は三ヶ月に一度の口の検診に来院され、元気を取り戻している。

また再び同じ症状に悩まされないようにするためには、ストレスに対する自分自身の受け止め方も大切だ。

本当は小さなストレスで

口臭の原因で最も多いのは歯周病であるが、口臭はカラダの病気のシグナルでもあるのだ。近年、口臭の治療に乳酸菌などの生菌を使った治療法「プロバイオティクス」が効果を上げてきている。スウェーデンで赤ちゃんのお腹から発見された「L・ロイテリ菌」はその代表だ。この菌は口臭の原因となる悪玉菌を寄せ付けず、善玉菌を増やす。さらに約六割の人でヒロリ菌が除菌できたという。副作用のない自然の抗生物質だ。

今回紹介した口臭も、かなりのストレスによって体に変調が出た深刻な病気のサイン。従来からお馴染みの病気のサイン——胃痛やうつ病などと共に、ストレスで起こる病気として特に環境が変わる春先は、ご注意を。

顎関節症

ドライマウス

高橋歯科クリニック
亀井 英志
Kamei Hideshi

舌痛症

ストレスは

見える!

すべては「噛みしめ」が原因だった

気がつくと歯を食いしばっている。心当たりの方は、当コラムの亀井医師の著書「すべては『噛みしめ』が原因だった」をお読みいただきたい。未病の原因をまとめた良書です。

亀井英志(かめいひでし)

1951年群馬県前橋市生まれ。76年東京歯科大学卒業。都立病院歯科口腔外科医を経て、84年より長栄歯科クリニック院長。臨床ゲノム医療学会理事。

